

「再現された俣野別邸見学と崎陽軒のお弁当を楽しむ」

★戸塚駅からバスに乗って直ぐ左手に、「上方見付け跡」があります。

東海道の各宿場の出入口に「見付け」がおかれ、ここで大名行列などを出迎えました。

戸塚宿の京都の方を「上方見付」江戸の方を「江戸見付」といいました。

★戸塚宿から大阪上に乗ると老人ホームの前に「お軽勘平戸塚山中道行の碑」が建っています。

お軽勘平は「仮名手本忠臣蔵」の登場人物で、鎌倉から落ち行くふたりが桜と菜の花が咲き乱れる戸塚山中で見せる美しく華やかな所作が有名です。

★バス停「影取」と「鉄砲宿」について

戸塚区の南端にあり、藤沢市と鎌倉市に隣接する影取町に、不思議な大蛇の伝説が残っています。遊行寺近くの、森というお金持ちの家で、大きな蛇が飼われていました。「おはん」と呼ばれ、かわいがられていましたが、あまりの大食いのため、たまりかねた家人が近くの池に捨ててしまいました。お腹をすかせた蛇は、池の水に映る旅人の姿を捕らえては、その影を飲み込んで飢えをしのぐようになりました。すると次第に、池のそばを通ると大蛇に影を飲まれ、数日もたたずに死んでしまうといううわさが広まるようになり、困りはてた村人たちは、鉄砲の名人に頼んで退治することにしました。ところが賢い蛇は用心してなかなか姿を現しません。そこで名人は、飼われていたころの呼び名を聞き、「おはんさん」と声をかけてみました。森家から迎えが来たと思い喜んで姿を現した大蛇は、名人に撃ち殺されてしまいました。それ以来、大蛇が住んでいた池を影取池、撃ち殺された辺りを鉄砲宿と呼ぶようになったということです。



★俣野別邸と俣野別邸庭園については、同封のパンフレットを参照ください。

★お昼は原宿地域ケアプラザの会議室を借用して崎陽軒のお弁当をいただきます。



★崎陽軒のお弁当について、以下のメニューからお選びいただき、返信葉書にご記入ください：

- ① 定番の駅弁・シウマイ弁当・・・・・・・・・・2,200円
- ② 炒飯弁当・・・・・・・・・・・・・・・・・・2,200円
- ③ 横濱中華弁当・・・・・・・・・・・・・・・・2,400円
- ④ 幕の内弁当・・・・・・・・・・・・・・・・2,400円

上記の金額には運営管理費、俣野別邸団体見学科、お弁当代、お茶代、資料代、など参加費の一切を含みます。